

昭和33年産荒茶生産量

(単位 kg)

	総生産量				茶種別生産量									
	昭和33年		昭和32年		前年との比較		玉露	かぶせ茶	てん茶	普通 せん茶	玉緑茶	番茶	紅茶	その他
	実数	比率%	実数	比率%										
全国	74,588,400	72,383,200	2,205,200	103.0	248,100	237,800	266,700	53,556,300	558,500	8,190,200	2,527,800	3,000		
茨城	1,430,700	1,405,500	25,200	101.8	0	400	—	1,272,800	—	40,900	116,600	—		
静岡	46,218,300	44,469,400	1,748,900	103.9	31,900	63,800	—	36,685,600	521,700	683,600	2,231,700	—		
京都	2,422,000	2,323,400	98,600	104.2	129,000	55,500	98,300	1,227,100	—	912,100	—	—		
埼玉	1,687,100	1,755,700	△68,600	96.1	4,100	12,800	—	1,546,500	—	123,700	—	—		

(注) その他は碁石茶

小売物価地域差指数

小売物価地域差指数は、消費者が一定の消費生活を営むための生計費に影響する物価水準の都市間における差を測定することを目的としている。指数作成都市は、小売物価統計調査を実施している54都市であり、全都市(全国的物価水準を代表できるように抽出されている家計調査施行の28都市)平均を基準とする指数を作成している。またこれらの指数を東京の指数で除して東京を基準とする指数をもあわせて作成している。算式は加重算

術平均式を用い、家賃は指数品目からのぞいて計算している。

品目は、小売物価調査の調査品目のうちから各都市共通に調査できる主要品目約170(202銘柄)を、価格は、小売物価調査による年間平均小売価格を用い、ウェイトは、指数作成年1カ年間における家計調査の品目別消費支出額を基礎に算定した。

小売物価地域差指数

(昭和32年平均)

都	市	28都市 = 100				東京 = 100			
		昭和31年		昭和32年		昭和31年		昭和32年	
		総合	食料	総合	食料	総合	食料	総合	食料
東	京	104.0	102.7	105.5	104.4	100.0	100.0	100.0	100.0
福	島	97.4	97.0	95.6	94.0	93.6	94.4	90.6	90.0
水	戸	96.4	96.8	96.7	96.1	92.7	94.3	91.7	92.0
宇	都	94.6	93.9	94.9	93.3	91.0	91.4	90.0	89.4
前	橋	96.7	95.8	97.2	94.8	92.9	93.3	92.1	90.8
高	崎	96.5	95.9	96.2	94.4	92.8	93.4	91.2	90.4
浦	和	98.6	98.0	99.7	98.2	94.8	95.4	94.5	94.1
千	葉	98.4	99.7	99.9	99.9	94.6	97.1	94.7	95.7

(資料) 総理府統計局「昭和22年平均小売物価地域差指数」